

第九回

日本漆喰協会作品賞

the 9th competition of japan shikkui association

伝統の良さを今に伝えて

日本漆喰協会は、日本の伝統的な左官工法による安全で健康的な建築文化を後世に継承して行くために、国内の主だった関連企業が結集して設立されたものです。



作品賞の目的

過去3年以内の国内の漆喰やドロマイトプラスターを使用して創作された作品の中から日本の伝統的な不燃建築仕上げ材である漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で環境と人に優しい漆喰工法による建築文化を後世に継承していくための一助となること、併せて漆喰関連業界の発展に寄与することを目的とし、社会的、文化的見地から特に優秀と認められる漆喰を使用した作品の表彰を行う。

目次
Contents

ごあいさつ 04
Greetings

審査総評 05
Judge

入賞作品 08
Win a Prize

住所リスト 36
List of Address

漆喰とは 39
What a great Shikkui.

ごあいさつ

観光立国と漆喰

安倍内閣は、と言うより政府は、昨年度外国人観光客数が回復して1000万人を突破したことを踏まえて、2020年には2000万人、2030年には3000万人に増やすことを、今後の観光立国を目指す目標として据えています。

日本には世界有数の観光資源があるにも関わらず、それを活かすための努力が等閑にされてきました。同一の民族と文化が途切れることなく数千年も、いや縄文の時代から考えれば数万年も継承されている国は世界広しと言えども日本くらいしか無いと言えます。

島国であったが故に可能であった事であり、そのことによる功罪はあれど、こと観光という視点で考えれば、伝統や個性的な文化など魅力となる財産が無数に内在しています。

建築と言うことだけに限って見れば、観光客にとっての人気NO.1は白川郷の合掌造りであり、そこでの畳の上での民泊、郷土料理などだそうです。

魅力的な観光地を全国各地に広げようとするとき、観光客が見て感動する建築風景は、我々がローマで古代建築に感動するのと同じように、日本文化のオーラが発散されている建築風景であることは間違いないでしょう。各地の町並み保存や文化財の修復が今後の観光立国のためにも極めて重要であるゆえんであり、こうした修復に漆喰が欠かせない材料であることはご承知の通りです。

そして、一部の伝統的建造物群の保存だけでなく、観光客が接する多くの建築において、この文化が生きて継承されていることを感じてもらうことが、日本を発信する上において、とても大事なことでは無いのかと考えます。

当協会はシックハウス対策としての化学物質放散自主認定制度や、調湿・消臭・抗菌と言った機能性、そして不燃性などの性能評価に取り組んでいますが、こうした科学的なアプローチだけでなく、観光価値としての文化的側面も、行政や各界関係者と協力して、もっと情報発信して行くべきではないかと考える次第です。

日本漆喰協会
会長 行平信義

■ 審査委員

審査委員長	古賀一八	
審査副委員長	後藤 治	
	難波蓮太郎	小松七郎
	石河公一	田中克也
	齊藤祐子	鳥越宣宏
	多田君枝	駒形忠晴
	三原 斉	官田 茂
	興石直幸	安西 徹
		(順不同)

審 査 総 評

近年、東日本大震災復興、福島第一原子力発電所事故処理、2020年東京オリンピック、アベノミクスといった環境下で建設工事が急増し、極端な人手不足が生じています。左官業界も御多分に漏れず、仕事をこなしきれない多忙な状況です。漆喰協会の作品賞に応募する余裕すらないような中で、本年も22件の応募がありましたことは、感謝の念に堪えません。

今年に応募の特徴としては、次の通りです。応募のきっかけについては、漆喰協会会員や日左連会員からの勧め、協会HP、情報サイトが、ほぼ同数で応募のきっかけのほとんどを占めています。作品の種別として、戸建住宅11軒に続いて、商業施設6件と不特定多数の人々の目に触れる場所に使用されていることは、漆喰の普及に大きく寄与できるものと考えられます。工事案件につきましては、新築工事13件のほか、重要文化財も含め改修・修復合わせて11件であり、漆喰協会として、作品賞応募者の中から、改修・修復技術の収集を行い、日左連と協力し改修・修復マニュアル作成などを進める時期に来ているものと思います。北海道から九州まで応募いただきましたが、受賞作品の所在地については、長崎県、宮崎県からの応募が初めてありました。第一回から今回までで北海道や沖縄県を含め12の道府県の作品が未受賞となっています。今後力を入れていくべき地域と認識する次第です。

漆喰協会作品賞の審査方法は、他の審査方法と異なり、応募書類に基づく審査のみならず、応募に必要な条件を満たす全ての作品を実際に確認することを行っています。大変手間はかかりますが、写真や書類では解りにくい、施工状況、仕上がり状態、納まり、施主の方の満足度などなど、現場でしかわからない情報を確認するなど、より厳格で確実な審査を行っています。施主の方のご協力があればこそ審査が可能で、施主の方にも感謝申し上げる次第です。

審査委員長
古賀一八

W in a Prize



選考評

かつての水害により著しく傷み、さらに年月を経て劣化の進んだ土蔵を、下地から仕上げまで様々な左官工法を用いて修復再生した左官職人の挑戦がここにある。農家と蔵と田園。我々の大切な原風景を守り残していくために試行錯誤が繰り返され、新たな工法に結びついたことが、今後の建築文化伝承の一助となっていくことに期待したい。



所在地	山形県東置賜郡川西町東大塚 1849
竣工	2013年8月20日
設計者	株式会社マルシゲ 熊谷一幸
施工者	株式会社マルシゲ 熊谷一幸
左官	株式会社マルシゲ 熊谷一幸

受賞者のコメント／設計者・施工者・左官

昭和43年の山形県最大の災害「羽越水害」により、水没した土蔵の再生復元を施主から後世に残したいという強い要望を受け、当社独自の特殊工法により躯体の再生と漆喰改修を行った蔵である。きわめて劣化の激しい土壁の補強方法は100年の時を超えて蘇えた。同じ地域に崩れ掛った蔵がまだそのままになっており地域再生のヒントにでもなれば幸いである。(熊谷一幸)



選考評

東日本大震災で被害を受けた重要伝統的建造物群保存地区の中にある国の登録有形文化財の復旧工事である。震災に遭いその修理を待つ伝統建築物一つ一つに大工、瓦職らと共に真摯に向き合い、手間を惜しまぬ仕事が丁寧に行われている。先人の技術に学びながら荒壁から修復したその技術を次の世代に大切に伝え、残していつてもらいたい。



所在地	茨城県桜川市真壁町真壁 189
竣工	2013年11月30日
設計者	有限会社大兵工務店 山本兵一
施工者	有限会社大兵工務店 山本兵一
左官	有限会社栃木左官店 栃木義雄

受賞者のコメント／設計者・施工者

地震により、蔵や見世蔵が大変な被害を受け、知恵と汗で作った建物の変わり果てた姿を目にしたとき、先人が直接、直したいと思いました。茨城県桜川市真壁町の重伝建地区は国の文化財保護法により外観を創建当時の施工方法で直すことが義務付けられています。この区域の修理の仕事に携わることになり、自然素材の調達から、卓越した左官職人が、先人たちの腕比べができる場に喜びを感じて、生き生きとして仕事をする左官職人の姿が光って見えました。(山本兵一)



選考評

重要伝統的建造物群保存地区内にある国指定重要文化財であり、多くの観光客が訪れるという。本格的な解体修理により、江戸末期に建てられたその姿を取り戻すべく、小舞荒壁から作り直された白漆喰の仕上げや黒漆喰の磨きなど、共に精緻に仕上げられており左官の高い技術がうかがえる。瓦工事で施された紐漆喰などと共に、漆喰が長期耐久の素材であることを伝える史跡としてこれからもより多くの人々が訪れることを望む。



所在地	長崎県雲仙市国見町神代丙 103
竣工	2013年12月27日
設計者	文化財建造物保存技術協会 比嘉 健
施工者	星野建設株式会社 上田秋孝
左 官	山本工業 山本 渉

受賞者のコメント／施工者

国の重要文化財である。旧佐賀藩神代領主の屋敷鍋島邸の長屋門が築150年を経過して老朽が進んでいた為解体修理（すべてを解体して復旧する）工事でした。竹小舞を組んで土壁を塗って斑直しをして漆喰で仕上げました。又150年後の改修工事で恥ずかしくない匠の技が継承出来たと思います。作品賞有難うございました。（上田秋孝）



選考評

「家族3世代で暮らす家を。」という施主の思いに応えるべく、地元の木を使い手刻み加工、小舞からの土壁下地に漆喰と、我が国の伝統工法を大切に守りこだわり建てられた住まい。細部にわたって丁寧に施工された漆喰は、乾燥し強度を増していく木材と共に長い年月をかけて成熟し、家族の大切な思い出と共に風合いが刻まれていく。設計者の「住むほどに愛着を」という言葉通り、家族と共に成長する住まいがここにある。



所在地 愛知県岡崎市上地 2-19-15
竣工 2012年8月
設計者 一級建築士事務所木輪組 小田貴之
施工者 オダ工務店 小田紀充
左 官 有限会社小林業務店 小林 公

受賞者のコメント／設計者

地元で育った木を使い、柱を表しとする真壁に昔ながらの工程で小舞を掻き荒壁・中塗り・漆喰仕上げと時間と手間をかけて造る「木組みの家」は職人の技術の結晶とも言えます。このような伝統的技法の家に携わることができ、またこの度の受賞に繋がったこと大変感謝しております。なによりお施主様のご理解とご協力のおかげです。誠にありがとうございました。(小田貴之)



選考評

宮崎県から初めての受賞作品である。地元特産の木材にこだわった住まいづくりの中に、積極的に漆喰が用いられている。継ぎ目のない自由な形状の壁づくり、間接照明の拡散光、収納スペースの調湿や消臭など、漆喰の性能が十二分に引き出されており、施工者の素材に対する造詣の深さがうかがえる。今後もより一層、漆喰の住まいにこだわりをもった家を作り続けていただきたい。



所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

宮崎県宮崎市下北方町二反五瀬 5389-13
2013年2月28日
株式会社粋の家 重面精一
株式会社粋の家 重面精一
永野工業 永野政美

受賞者のコメント／設計者・施工者

日本のカルフォルニアと称される宮崎での住空間を追求した結果、漆喰と飴肥杉を中心とした家造りに行き着きました。設計施工者として注視する点は施主様、御夫婦（家族）仲が良い事、家造りの中でお互いの健康や意匠を創造する事により漆喰等の粋（こだわり）を共感し採用頂ける点だと強く感じます。今回の受賞で更に漆喰に想いを馳せ、三方良しと成るよう更に尽力して参ります。（重面精一）



選考評

壁面はもちろんの事、細部に至るまで大変緻密に仕上げられており、特に個室天井部に施された漆喰蛇腹は現場で引いたとは思えない程精度の高いものとなっている。漆喰による調和を目指した設計とそれを実現する高度な左官技術による空間づくりの結果、訪れた客に緊張感を与えることなく、かえって心地よく包み込む。是非、料理と共に漆喰の魅力を楽しんでもらいたい。



所在地	兵庫県洲本市栄町 3-1-43
竣工	2013年11月15日
設計者	山下生活設計室 山下涼代
施工者	総合建築植田 植田俊司
左官	淡路島の左官職人 植田俊彦

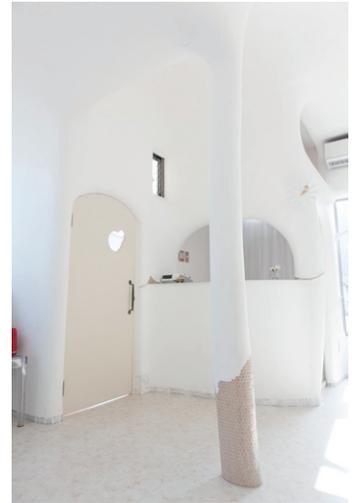
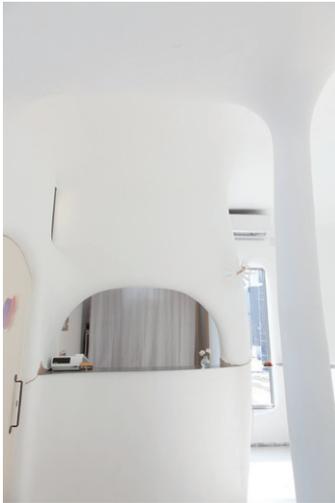
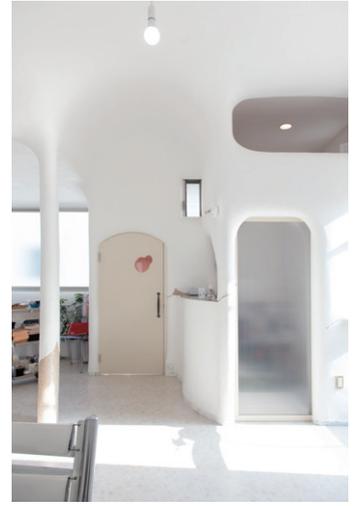
受賞者のコメント／施工者

この度は、作品賞ありがとうございます。自然素材を使った家造りをしている私達にとって、木と漆喰はなくてはならない存在です。地元で馴染みの深いこのお店にはたくさんの方が来店されます。少しでも多くの方に、漆喰に囲まれた空気感、様々な漆喰の表情などを感じていただければと願っています。(植田俊司)



選考評

外部に使われた土入り漆喰は、伝統的な焼き杉と共に城下町の雰囲気が残る町に良く馴染んでいる。また、内部は柔らかい素材感と自由な表現力を用いて、全体を曲線と球面にした独特の空間が演出されている。漆喰であるからこそ実現できたものであろう。美容室として向かえる来客の評価も高く、球面と漆喰の空間に癒され長居することも多いとのこと。漆喰の新たな可能性を提案した好例である。



所在地	岡山県新見市新見 846
竣工	2013年6月11日
設計者	山口康史建築設計 山口康史
施工者	有限会社玉木工務店
左官	岡田左官工業所 岡田英治

受賞者のコメント／デザイナー

周囲と町並みを考慮した外観。7種の寸法の違う球面を繋いだ波天井。流体曲面を用いた陰影の薄い彫刻のある窓。曲面が少しずつ変わる壁とR部の寸法が刻々と変化する角面接合部その全てが融合する事で独特なリズム感と柔らかく心地良い空気感を持つ癒しの空間となりました。受賞の報を戴き、関係者の皆様に感謝申し上げます。(玉木孝典)



選考評

漆喰と木の住まいに、古材や古建具などが組み合わせられたことで、新しくも歴史を感じさせる、魅力的な住まいである。海を眺めながら過ごし、海を楽しむ施主。作品名の通り、抜群のロケーションあることは自然の影響も受けやすく、常に掃除や手入れが必要とされるが、その一つ一つが住まう楽しみにつながっているとのこと。現代民家が古民家となるその日まで大切に暮らしていただきたい。



所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

福岡県宗像市神湊字西口 485-60
2012年6月27日
古民家蘇生工房 柳本隆彦
古民家蘇生工房 柳本隆彦
清賀工務店 清賀貴志

受賞者のコメント／設計者・施工者

縁があり、目の前が海というまるで映画のワンシーンのような恵まれた条件で、（私はパラダイスビーチと呼んでいる）新築させて頂ける又とない場を戴いた。青い海と漆喰が意匠的にも周辺環境にマッチし、景色の一部となっている。前を通る子供が、オ、オオーッとってくれるのが嬉しい。建築の仕事をした以上、街の景色の一部を担うという気概を忘れてはいけないと思う。このような場を頂き大変感謝しております。（柳本隆彦）



選考評

無垢のヒノキと漆喰壁が組み合わされ、快適な空気感のある店舗に仕上げられている。十数席のカフェ。漆喰の使われた面積は小規模ではあるが、熟達した左官の丁寧な仕事が行われている。ワラ入りにすることで表情が豊かになった店内の壁は、来客の関心も引くようで、漆喰壁に興味を示すことがあるとのこと。多くの人が気軽に訪れる店として、これからも漆喰の良さを伝え続けてもらいたい。



所在地	高知県高知市本町 5-1-50 中澤ビル 1階
竣工	2012年 8月
設計者	東 卓男
施工者	有限会社中村工務店 中村成博
左 官	伊野左官工業 伊野郁雄

受賞者のコメント／設計者

この度、受賞の機会を与えていただき、ありがとうございます。本作品はテナントビルの1階を店舗に改修したものです。リビングカフェというコンセプトのもと、客席の内装仕上げを漆喰と檜で構成し、訪れた人々がゆっくりと過ごせる、自宅のリビングのような空間を目指しました。漆喰に囲まれた「やわらかく、気持ちの良い空間」が訪れた人々の「やすらぎの場」となることを願います。(東 卓男)



選考評

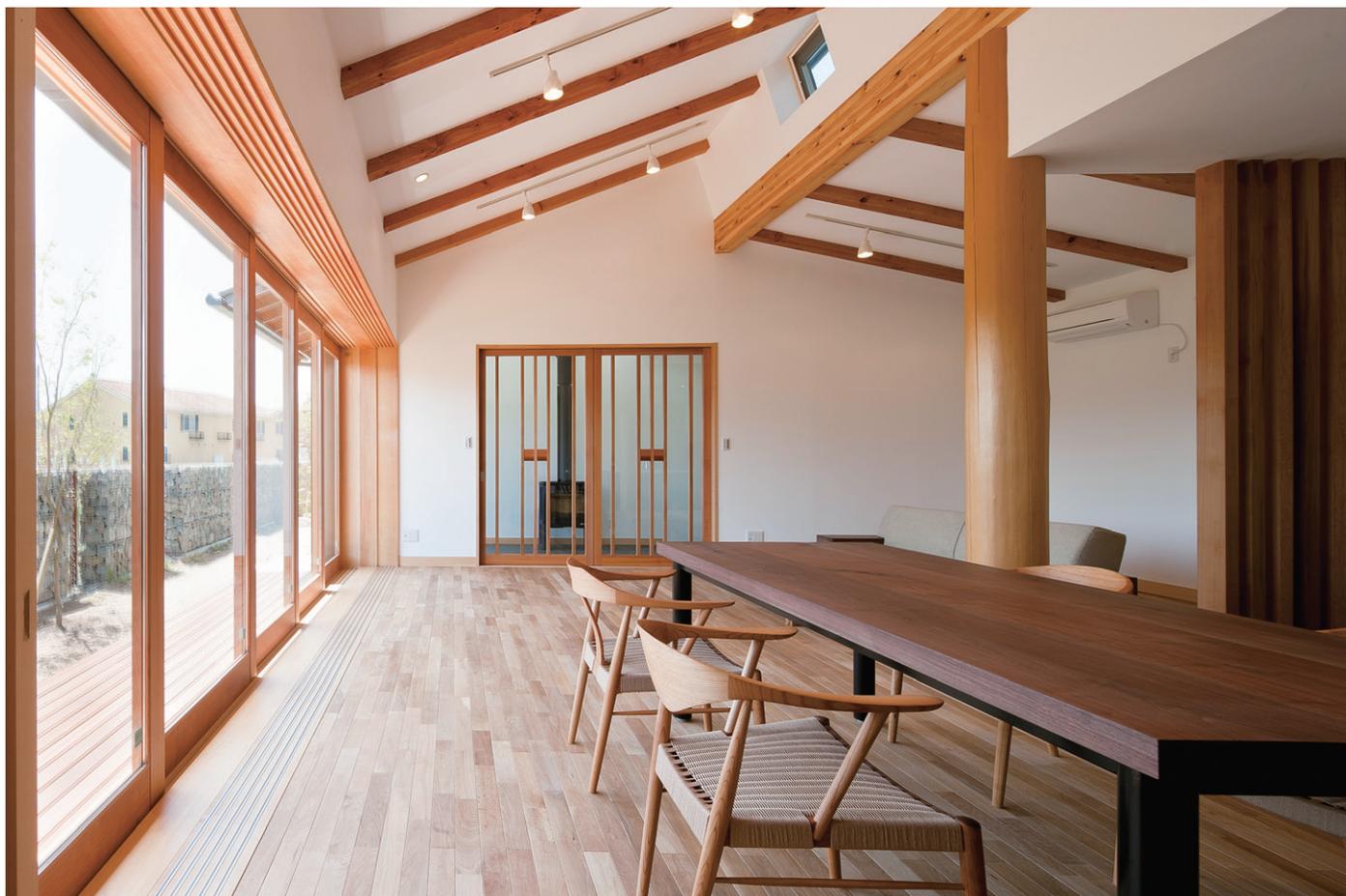
築130年の古民家再生において耐震、省エネ、バリアフリーなど、現代の工事が行われる中、歴史の刻み込まれた柱や梁とともに伝統美を残すべく、壁仕上げに漆喰を用いたという。内壁外壁ともに多くの部分が漆喰で仕上げられる中、しっかりと錨が通され押えられているほか、伝統的な垂木の塗り籠めなど、左官の技術の高さがうかがえる。



所在地 兵庫県加古川市神野町
 竣工 2013年12月25日
 設計者 TBJ インテリアデザイン建築事務所 北村和康
 施工者 東播住設株式会社 吉田 亮
 左官 永井左官 永井宏和

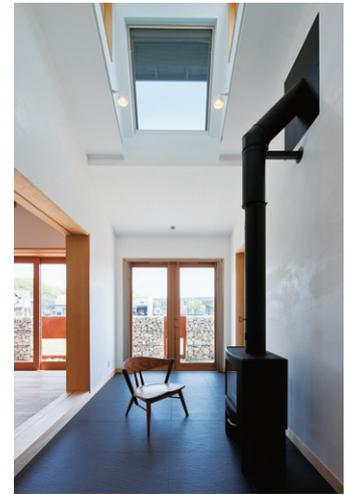
受賞者のコメント／設計者

築130年の古民家再生住宅を三世代の住まい手に気に入っていただけるように計画。既存の軒が棒漆喰だった事や地元姫路城改修の影響もあり漆喰にて改修致しました。工程と予算の関係で勇気が必要でしたが左官職人芸と化粧直しされた竹まいに感無量、感動しました。内外装共に漆喰を使用し、伝統工法という建築改修の意味を感じたと共にこの伝統を継承出来るよう努力したいと思います。(北村和康)



選考評

自然を愛する施主の要望に応えるべく、自然素材である漆喰を使用したとのこと。室内のほとんどの壁と天井が白漆喰の押え仕上げで統一されたことにより、のびやかで清潔感のある住空間がつけられている。漆喰のほか、木・紙・石などの自然素材が洗練されたデザインで組み合わせられており、住まい手の心地よさが伝わってくる作品である。



所在地 兵庫県たつの市誉田町福田 596
 竣工 2012年4月20日
 設計者 スタジオ クランツォ 1級建築士事務所 山口是彦
 施工者 株式会社昭和工務店姫路支店 吉谷孝平
 左 官 児玉左官工業 児玉善一郎

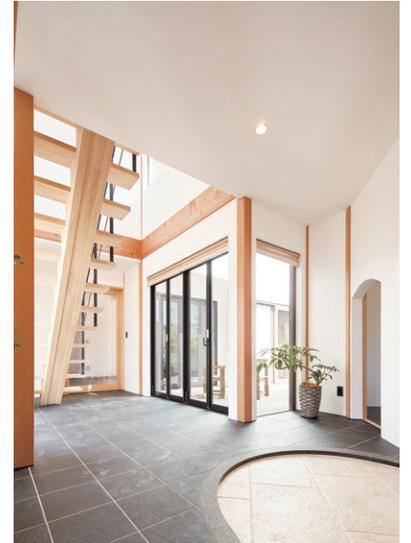
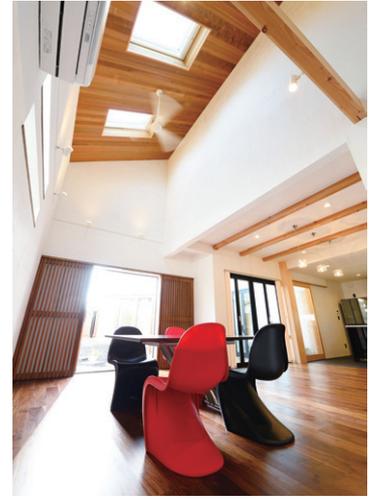
受賞者のコメント／設計者

「記憶の家」は兵庫県たつの市の古い醤油蔵の跡地に計画されました。この辺りは古くから醤油醸造が盛んで、敷地の一部には醤油醸造の痕跡も残っており、「家業の記憶」を継承することや、古くから引き継がれてきた伝統素材である漆喰を随所に使用することで、伝統的な中に洗練された要素を含む美しい住いを結実できたのではないかと考えています。(山口是彦)



選考評

全体が櫛引きで仕上げられており、採光や照明によって出来る陰影が高級感を生み出している。櫛引きのパターンの構成にも様々な配慮がなされ、壁を作品として仕上げようとした施工者と左官の熱意が伝わってくる。また、本作品は住宅ショールームとしてのほか、近隣方の講習室としても使用されており、漆喰に触れる場としても活用されているとのこと。これからも多くの来訪者にその良さを伝えていってほしい。



所在地 神奈川県藤沢市
 竣工 2012年9月1日
 設計者 サンキホーム株式会社 1級建築士事務所 木本己樹彦
 施工者 サンキホーム株式会社 木本己樹彦
 左官 株式会社木本工業所 木本己樹彦

受賞者のコメント／設計者

当作品は「大空間と光と風」をテーマとし、自然素材である「木」「漆喰」「石」を中心に、より多くの方々に楽しんで利用していただけるよう、心地よく温もりのある空間を目指し設計いたしました。この作品に携わっていただいた方々の熱い思いが受賞につながったと思います。今後もより一層、自然素材と向き合いながら研鑽に努めたいと思います。(木本己樹彦)



選考評

新築の住まいと、築100年の古民家を再生した離れの組み合わせ物件である。漆喰は新しい住まいの無垢の白木やサッシを引き立てながら、古民家ではこれまで通り古材や古建具と静かに馴染んでいる。そんな住まいが快適で住み心地良いという施主の言葉通り、漆喰は新旧の時間を調和する素材であることを実証した作品といえよう。



所在地 東京都大田区中央 2-21-22
 竣工 2013年4月18日
 設計者 株式会社佐野修建築設計事務所 佐野 修
 施工者 株式会社上島工務店 上島利男
 左 官 五十嵐工業所 五十嵐 誠

受賞者のコメント／設計者

築約100年の木造住宅を、半分を離れとして耐震改修し、残りの半分を新築として建て替えました。改修部分では、古材と漆喰のコントラストが清々しく、新旧の対比が見事に融合した意匠となりました。新築部分では、デザインの和洋を問わず、様々な意匠にマッチする万能素材であると改めて実感しました。今後も漆喰を積極的に用い、美しいまちづくりに貢献したいと思います。

(佐野 修)

L

ist of Address

p-08-09 山形県川西町の 土蔵再生	設 計 者	株式会社マルシゲ 熊谷一幸 〒990-2461 山形県山形市南館 5-8-42	TEL : 023-644-4358	FAX : 023-644-4354
	施 工 者	株式会社マルシゲ 熊谷一幸 〒990-2461 山形県山形市南館 5-8-42	TEL : 023-644-4358	FAX : 023-644-4354
	左 官	株式会社マルシゲ 熊谷一幸 〒990-2461 山形県山形市南館 5-8-42	TEL : 023-644-4358	FAX : 023-644-4354
p-10-11 潮田家脇蔵修理工事	設 計 者	有限会社大兵工務店 山本兵一 〒328-0036 栃木県栃木市室町 4-12	TEL : 0282-22-2321	FAX : 0282-24-3186
	施 工 者	有限会社大兵工務店 山本兵一 〒328-0036 栃木県栃木市室町 4-12	TEL : 0282-22-2321	FAX : 0282-24-3186
	左 官	有限会社栃木左官店 栃木義雄 〒328-0007 栃木県栃木市大塚町 646	TEL : 0282-27-4137	FAX : 0282-27-8762
p-12-13 旧鍋島家住宅長屋門	設 計 者	文化財建造物保存技術協会 比嘉 健 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-11-26 井門博多駅前ビル 4 階	TEL : 092-476-3754	FAX : 092-451-4530
	施 工 者	星野建設株式会社 上田秋孝 〒855-0872 長崎県島原市梅園町丁 2870-1	TEL : 0957-62-4101	FAX : 0957-62-4231
	左 官	山本工業 山本 涉 〒855-0834 長崎県島原市西八幡町 7653	TEL : 0957-62-3747	FAX : 0957-62-5967
p-14-15 木組みの二世帯住宅	設 計 者	一級建築士事務所木輪組 小田貴之 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町土取 15-8	TEL : 0533-67-1618	FAX : 0533-67-1629
	施 工 者	オダ工務店 小田紀充 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町土取 15-8	TEL : 0533-67-1618	FAX : 0533-67-1629
	左 官	有限会社小林業務店 小林 公 〒443-0046 愛知県蒲郡市竹谷町作間 5-1	TEL : 0533-67-5433	FAX : 0533-67-5433
p-16-17 終の棲家 (時の流れを五感で親しむ家)	設 計 者	株式会社粋の家 重面精一 〒880-0021 宮崎県宮崎市清水 1-10-39	TEL : 0985-73-7761	FAX : 0985-23-2887
	施 工 者	株式会社粋の家 重面精一 〒880-0021 宮崎県宮崎市清水 1-10-39	TEL : 0985-73-7761	FAX : 0985-23-2887
	左 官	永野工業 永野政美 〒880-0927 宮崎県宮崎市源藤町南田 49-5	TEL : 0985-50-9361	FAX : 0985-50-0102
p-18-19 トラットリア いたりあ亭	設 計 者	山下生活設計室 山下涼代 〒656-1344 兵庫県洲本市五色町鳥飼浦 373-2	TEL : 0799-34-0776	FAX : 0799-34-0776
	施 工 者	総合建築植田 植田俊司 〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 1462-6	TEL : 0799-62-3184	FAX : 0799-62-7184
	左 官	淡路島の左官職人 植田俊彦 〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 1462-6 総合建築植田 真 / 植田俊司	TEL : 0799-62-3184	FAX : 0799-62-7184
p-20-21 PAS A PAS (パザパ)	設 計 者	山口康史建築設計 山口康史 〒718-0011 岡山県新見市新見 1262-3	TEL : 0867-72-0705	FAX : 0867-72-0705
	施 工 者	有限会社玉木工務店 〒719-3504 岡山県新見市大佐永富 1608	TEL : 0867-98-2602	FAX : 0867-98-3559
	左 官	岡田左官工業所 岡田英治 〒719-3212 岡山県真庭市三阪 910-8 真 / 村上健太郎	TEL : 0867-42-1706	FAX : 0867-42-5863

p-22-23 ロケーション抜群の 海沿いに建つ現代民家	設 計 者	古民家蘇生工房 柳本隆彦 〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺 106-1	TEL : 093-452-3526	FAX : 093-452-3527
	施 工 者	古民家蘇生工房 柳本隆彦 〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺 106-1	TEL : 093-452-3526	FAX : 093-452-3527
	左 官	清賀工務店 清賀貴志 〒803-0187 福岡県北九州市小倉南区母原 413-9	TEL : 093-451-5513	FAX : 093-451-5513
p-24-25 living-cafe ease	設 計 者	東 卓男 〒536-0001 大阪府大阪市城東区古市 2-2-10 チャコレー岡本 205	TEL : 090-9456-5350	
	施 工 者	有限会社中村工務店 中村成博 〒781-8114 高知県高知市高須西町 1-9	TEL : 088-882-3737	FAX : 088-882-3769
	左 官	伊野左官工業 伊野郁雄 〒780-0026 高知県高知市秦南町 2-29-20	TEL : 088-824-8529	FAX : 088-824-8529
p-26-27 神野の家	設 計 者	TBJ インテリアデザイン建築事務所 北村和康 〒675-0017 兵庫県加古川市野口町良野 1524	TEL : 079-427-3790	FAX : 079-427-0597
	施 工 者	東播住設株式会社 吉田 亮 〒675-0017 兵庫県加古川市野口町良野 1524	TEL : 079-427-0590	FAX : 079-427-0597
	左 官	永井左官 永井宏和 〒670-0065 兵庫県姫路市上手野 346-6	TEL : 079-297-7808	FAX : 079-297-7808
	写 真	北村和康		
p-28-29 記憶の家	設 計 者	スタジオ クランツォ 1 級建築士事務所 山口是彦 〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地 2-5-5	TEL : 06-6346-3701	FAX : 06-6346-3702
	施 工 者	株式会社昭和工務店姫路支店 吉谷孝平 〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口 542	TEL : 079-420-8856	FAX : 079-420-8756
	左 官	児玉左官工業 児玉善一郎 〒671-0243 兵庫県姫路市四郷町本郷 299-9	TEL : 079-252-5127	FAX : 079-252-5127
	写 真	株式会社エスエス大阪		
p-30-31 辻堂ショールーム兼 多目的施設 内部左官工事	設 計 者	サンキホーム株式会社 1 級建築士事務所 木本己樹彦 〒251-0043 神奈川県藤沢市辻堂元町 4-15-17	TEL : 0466-33-3336	FAX : 0466-34-5752
	施 工 者	サンキホーム株式会社 木本己樹彦 〒251-0043 神奈川県藤沢市辻堂元町 4-15-17	TEL : 0466-33-3336	FAX : 0466-34-5752
	左 官	株式会社木本工業所 木本己樹彦 〒251-0043 神奈川県藤沢市辻堂元町 4-15-17	TEL : 0466-34-3420	FAX : 0466-34-3508
p-32-33 離れのある家 M 邸	設 計 者	株式会社佐野修建築設計事務所 佐野 修 〒112-0005 東京都文京区水道 2-13-2 前田ビル 501	TEL : 03-3941-7051	FAX : 03-3941-7061
	施 工 者	株式会社上島工務店 上島利男 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-16-10	TEL : 03-3941-4070	FAX : 03-3944-0267
	左 官	五十嵐工業所 五十嵐 誠 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 3-21-1	TEL : 03-3806-1665	FAX : 03-3806-1665
	写 真	株式会社フォワードストローク 鈴木文人		

※掲載は応募順になっております。

W hat a great Shikkui.

漆喰とは

漆喰は、消石灰（水酸化カルシウム）とCO₂との反応で固結するという原理（ $\text{Ca}(\text{OH})_2 + \text{CO}_2 = \text{CaCO}_3 + \text{H}_2\text{O}$ ）に基づく壁材であり、消石灰を主原料に、のりや繊維質を添加した壁材のことを「漆喰」といいます。

漆喰の建物は、世界各国に数多く存在します。漆喰の歴史は世界では数千年前より、わが国では1,300年前にさかのぼります。それは、原料である石灰が世界各地で産出可能であり、漆喰そのものが建物を守り彩る素材として、優れているからに他なりません。

石灰は現在輸入ゼロ。全て国内生産で賄える数少ない豊富な天然資源です。古代エジプト文明はピラミッドから始まり、ラスコーを経て、中国は敦煌、そして日本の高松塚古墳や法隆寺へ・・・その国々の代表的建造物の壁を彩るのは漆喰です。

■こんなにある！漆喰を使う理由

1. 漆喰は湿度を調整し、結露から来るカビやダニを防止します。
2. 漆喰は悪臭やホルムアルデヒドなどのVOCを吸着する機能があります。
3. 漆喰は静電気が発生せず、ビニールクロスよりもはるかに汚れにくい仕上げです。
4. 漆喰には有害な物質が含まれておらず、廃棄されても環境に優しい素材です。
5. 漆喰はそのアルカリ性で、抗菌作用が長期間持続します。

■鳥インフルエンザの予防や口蹄疫の防疫・消毒に

漆喰の主原料である消石灰は、鳥インフルエンザや口蹄疫の防疫・消毒に撒かれております。鳥インフルエンザに対する有効性がパスツール研究所（フランス リール市）への委託研究で実証されました。

「第9回 日本漆喰協会作品賞」作品集

主催 日本漆喰協会
協賛 一般社団法人日本左官業組合連合会

編集 第9回 日本漆喰協会作品賞審査委員会
デザイン 株式会社コーパス
印刷 昭栄印刷株式会社
発行者 日本漆喰協会
発行 平成26年9月

日本漆喰協会
105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-21 日本石灰協会内
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604
URL <http://www.shikkui.gr.jp/>

※無断に転載、複写を禁じます。

JSA
japan shikkui association